

## 平成 28 年度入社式について

平成 28 年 4 月 1 日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、平成 28 年 4 月 1 日（金）10 時から、国立研究所において、「平成 28 年度入社式」を行いましたのでお知らせいたします。

入社式では、経営幹部立ち会いのもと、鉄道総研理事長 熊谷則道から新入職員 13 名（女性 2 名）一人一人に辞令が手渡されました。引き続き、理事長から新入職員へ訓示が行われ、それを受け、新入職員を代表して生駒一樹から答辞が述べられました。

### 理事長訓示要旨

本日、鉄道総研へ入社されましたこと、おめでとうございます。皆さんを迎えられることを、私を始め、鉄道総研一同、大変喜んでおります。同時に、皆さんが社会人として踏み出す最初の日となりました。社会に船出する緊張感と新しい環境への意気込みが重なったような気持ちが皆さんの顔に表れています。

鉄道総研のビジョン「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献します」のもと、鉄道および社会の発展の役に立つことを理念として、私たち鉄道総研の職員は研究開発活動を行っています。本日、皆さんの社会人スタートに当たり、皆さんに期待すること、三点についてお話します。

最初の一点は、鉄道の安全を第一に考えよう、ということです。昨年 10 月に皆さんと顔を合わせたときに伝えた「社会の安全について問題意識を持つこと」を一步進めて、本日から新しい研究開発の実施や鉄道現場で実験を行うなどの業務に携わり、プロの鉄道人として安全の維持向上に注力していただきたいと思います。鉄道のプロフェッショナルとは、鉄道を通じて社会に貢献する人を意味しています。本日から皆さん方が社会に貢献するのだ、ということをお心に銘じてください。



写真 新入職員に訓示を述べる熊谷理事長

第二に研究開発で「役に立つ」技術を提供することで信頼を得ることです。鉄道では、この約 1 年間に、北陸新幹線、北海道新幹線の開業、中央新幹線の着工、インドなど海外では鉄道プロジェクトも進展するなど国内国外で変化が起きています。技術分野でも、自動運転、人工知能、ビッグデータ解析、高度シミュレーションなどグローバルな技術革新の展開の予兆が見られます。この大きな流れを鉄道分野に活用する必要があります。JR を始めとする鉄道事業者を通して、お客様に役立つ成果を提供することが当研究所の使命です。安全の維持、利便性の向上、環境との調和、低コスト化などを目標に最高の品質の研究開発成果を、鉄道事業者、メーカー等の方々に提供すること、および、これらの方々の信頼を継続して得る努力をすることです。

第三に、鉄道の現場を自分の目で見ることです。研究開発の課題はお客様にご利用いただく営業列車が走行する鉄道現場で生まれています。鉄道が高度になればなるほど難しい課題が生じてきます。これらの課題に、ひるむことなくチャレンジして下さい。そのために、いろいろな知識を吸収し、自由な発想で創造する力を蓄えて頂きたいと思えます。

皆さんが等しく持っているフレッシュな感性とバイタリテイあふれる行動力に、あらたに「情熱を持つ」ことを加えていただき、共に鉄道の価値を高めることにまい進してください。私たちとともに、鉄道技術を起点としたイノベーションを社会に起こしていきましょう。



写真 理事長から辞令を受け取る新入職員

## 新入職員代表者答辞要旨

本日は、私どものために、入社式を開催していただき、誠にありがとうございます。新入職員を代表し、心より御礼を申し上げます。

只今、理事長より心温まる歓迎と激励のお言葉をいただき、深く感銘を受けると同時に、身の引き締まる思いでいっぱいでございます。私どもは、本日より公益財団法人鉄道総合技術研究所の一員として皆様とともに働けることを、誠に光栄に存じております。

本日賜りましたお言葉を胸に、温故知新を心がけつつ、鉄道技術、延いては社会の発展に貢献できるよう、尽力する所存です。

しかしながら、私どもは若輩ゆえ、至らぬ点多々あるかと存じます。鉄道総研の名に恥じぬよう日々精進し、一社会人として前進して参りたいと考えております。何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



写真 答辞を述べる新入職員代表